



2020年2月14日

各 位

会 社 名 ネットワンシステムズ株式会社  
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 荒井 透  
 (コード番号：7518 東証第1部)  
 問 合 せ 先 管理本部 広報・IR室 山形 昌子  
 (TEL. 03-6256-0615)

2020年3月期 第3四半期業績予想、

及び、2020年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日、2020年3月期第3四半期連結業績予想、及び、2019年4月25日に公表した2020年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2020年3月期第3四半期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	-	-	-	-	-
今回修正予想 (B)	124,174	9,699	9,930	5,742	67.78
増減額 (B-A)	-	-	-	-	
増減率 (%)	-	-	-	-	

(2) 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	187,500	15,000	15,000	10,200	120.47
今回修正予想 (B)	188,000	15,000	15,000	9,400	110.96
増減額 (B-A)	500	-	-	△ 800	
増減率 (%)	0.3	-	-	△ 7.8	

## 2. 修正の理由

当社は、2020年1月21日付「決算発表日の変更に関するお知らせ」に記載のとおり、国税局による税務調査の過程で当社の一部取引について納品の事実が確認できない疑義があるとの指摘を受けたため、特別調査委員会を設置し調査を進めておりましたが、その調査結果の受領までに時間を要する見込みであったことから、2020年3月期第3四半期決算の発表日を2020年2月13日に変更する旨をお知らせいたしました。

しかしながら、本日開示した「2020年3月期 第3四半期報告書の提出期限延長に関する承認申請書提出のお知らせ」に記載のとおり、特別調査委員会では、関係者へのヒアリング、並びに当社及び協力を得られた取引先等から提供を受けた資料の分析・検討等の方法による調査が実施され、本件に係る不正行為（以下「本不正行為」といいます。）の有無・態様、当社連結財務諸表の損益に与える影響額等を認定するに至っているものの、本不正行為に関与した担当者及び取引先が相当数に上り、かつ、長期間にわたって行われていたことから調査の実施に相当の工数を要したこと、特別調査委員会による必要なヒアリングの調整及び実施に想定以上に時間を要し、その結果を踏まえた追加の調査や原因分析等に更なる時間・工数を要したこと、また、特別調査委員会による調査の過程で、本不正行為に類似する不正（原価付替取引）が存在することが発覚し、当該不正の疑いに係る会社との平成20年以降の直接取引を対象として追加調査（新たに不正を把握した場合の関係者らに対するヒアリング及びデジタル・フォレンジック調査を含みます。）を実施することが必要となったこと必要となったこと等から、2020年3月期第3四半期決算の発表を再度延期せざるを得ない状況に至りました。

かかる状況において、第3四半期の終了後45日を経過すること等も考慮したうえで、株主、投資家をはじめとするステークホルダーの皆様には現時点の当社の業績予想をお示しすることが重要であると判断し、業績予想を修正いたします。

## 3. 今後の予定

本日開示した「2020年3月期 第3四半期報告書の提出期限延長に関する承認申請書提出のお知らせ」に記載のとおり、当社は、2020年3月期 第3四半期報告書の提出期限延長に関する承認申請書を提出することを決定し、同申請書を関東財務局に提出することといたしました。かかる申請が承認された場合、2020年3月期 第3四半期報告書の提出期限は2020年3月13日になります。当社は、かかる期限までに2020年3月期第3四半期決算を発表できるよう、全社をあげて取り組んでまいります。

このような事態になり、株主、投資家をはじめとするステークホルダーの皆様には、多大なるご迷惑、ご心配をお掛けいたしますこと、改めて深くお詫び申し上げます。

なお、添付資料をご覧いただくにあたっては、以下の点にご留意ください。

- ・ 添付資料は、発表日時点における、当社見解の業績予想を記載したものです。

以上



# 2020年3月期 第3四半期業績予想、 及び、2020年3月期通期業績予想の修正について

ネットワンシステムズ株式会社 [証券コード 7518]

2020年2月14日

- 1 ■ 特別調査委員会の中間調査報告書について P.02-04
  - ・ 本不正行為について
  - ・ 本不正行為に関する主な影響見込額
  
- 2 ■ 修正業績予想について P.05-09
  - ・ 2020年3月期 Q3（10-12月）修正業績予想
  - ・ 2020年3月期 Q1-3累計（4-12月）修正業績予想
  - ・ 2020年3月期 通期 修正業績予想
  - ・ 中期経営指標
  
- 3 ■ Appendix P.10-13
  - ・ マーケット別 受注高・売上高・受注残高の修正予想
  - ・ 商品群別 受注高・売上高・受注残高の修正予想
  - ・ セグメント情報の修正予想

## 1

## ■ 特別調査委員会の中間調査報告書について

- ・ 本不正行為の概要
- ・ 本不正行為に関する主な影響見込額

## ■ 経緯

- 2019年11月：東京国税局による税務調査にて「疑義のある取引」を指摘
- 2019年12月13日：特別調査委員会を設置
- 2020年02月13日：特別調査委員会から中間報告書を受領

## ■ 本不正行為について

- 中央省庁をエンドユーザーとする架空の物品販売を内容とする商流取引を順次繰り返す形で行われていたもの
- 当社においては、当社元社員（A）が、本不正行為による取引の当事会社の担当者らと連絡を取り合い、Aの部下らに対して必要書類の一部の作成を命じ、Aの上長に対して架空の商流取引である事実を秘して決裁を受け、本不正行為に係る取引を実行していたもの
- すなわち、本不正行為は、当社において組織的に実行されたものではなく、全容を把握して架空の商流取引であることを認識していたのはAのみであり、Aが単独で行っていたもの

# 本不正行為に関する主な影響見込額

特別調査委員会の調査によって判明した、本不正行為に該当する影響見込額は以下の通りです。  
これに加えて、本不正行為に係る資金決済差額への手当として、特別損失として、2020年3月期上半期に約11億円、2019年3月期に約39億円、2018年3月期に約1.7億円を計上予定です。

(単位：百万円)	2016/03	2017/03	2018/03	2019/03	2020/03 2Q累計	累計
売上高	△ 4,278	△ 4,215	△ 7,383	△ 6,561	△ 5,179	△ 27,615
売上総利益	△ 404	△ 359	△ 882	△ 868	△ 1,128	△ 3,642
営業利益	△ 404	△ 359	△ 882	△ 868	△ 1,128	△ 3,642
経常利益	△ 404	△ 359	△ 882	△ 868	△ 1,128	△ 3,642
税金等調整前 当期純利益	△ 404	△ 359	△ 882	△ 868	△ 1,128	△ 3,642

## 2

## ■ 修正業績予想について

- ・ 2020年3月期 Q3（10-12月）修正業績予想
- ・ 2020年3月期 Q1-3累計（4-12月）修正業績予想
- ・ 2020年3月期 通期 修正業績予想
- ・ 中期経営指標



# 2020年3月期 第3四半期（10-12月） 修正業績予想

(単位：百万円)	2019/03 Q3 (注)		2020/03 Q3 予想 (注)		前年同期比	
					増減額	増減率
受注高	37,539		54,884		+17,345	+46.2%
売上高	41,833	100.0%	40,681	100.0%	(1,152)	△ 2.8%
売上原価	31,560	75.4%	29,418	72.3%	(2,142)	△ 6.8%
売上総利益	10,273	24.6%	11,263	27.7%	+990	+9.6%
販売費及び一般管理費	7,449	17.8%	7,634	18.8%	+185	+2.5%
営業利益	2,823	6.8%	3,628	8.9%	+805	+28.5%
経常利益	2,913	7.0%	3,696	9.1%	+783	+26.9%
親会社株主に帰属する当期利益	1,993	4.8%	2,825	6.9%	+832	+41.7%

継続してセキュリティ対策やクラウド基盤ビジネスが好調に推移し、  
受注高及び各利益が前年同期比で増加する見込み

(注) 当期の数字は訂正見込額を反映したものです。過年度の数字は公表時のもので、2020年3月期 第3四半期決算発表時に訂正額を反映する予定です。

# 2020年3月期 第3四半期累計（4-12月） 修正業績予想

(単位：百万円)	2019/03		2020/03		前年同期比	
	Q1-3 累計 (注)		Q1-3 累計予想 (注)		増減額	増減率
受注高	138,036		150,381		+12,345	+8.9%
売上高	122,432	100.0%	124,174	100.0%	+1,742	+1.4%
売上原価	91,977	75.1%	91,189	73.4%	(788)	△ 0.9%
売上総利益	30,455	24.9%	32,985	26.6%	+2,530	+8.3%
販売費及び一般管理費	22,695	18.5%	23,285	18.8%	+590	+2.6%
営業利益	7,759	6.4%	9,699	7.8%	+1,940	+25.0%
経常利益	7,956	6.5%	9,930	8.0%	+1,974	+24.8%
親会社株主に帰属する当期利益	5,303	4.3%	5,742	4.6%	+439	+8.3%
受注残高	84,725		101,469		+16,744	+19.8%

受注高・売上高・各利益それぞれにおいて、前年同期比で増加する見込み  
 なお、上半期において、本不正行為に係る額（本資料5p記載）を取り消すとともに特別損失約11億円を計上見込み

(注) 当期の数字は訂正見込額を反映したものです。過年度の数字は公表時のもので、2020年3月期 第3四半期決算発表時に訂正額を反映する予定です。

# 2020年3月期 通期 修正業績予想

(単位：百万円)	2020/03 通期 期初予想		2020/03 通期 修正予想 (注)		期初予想比	
					増減額	増減率
受注高	189,000		195,000		+6,000	+3.2%
売上高	187,500	100.0%	188,000	100.0%	+500	+0.3%
売上原価	139,800	74.6%	140,300	74.6%	+500	+0.4%
売上総利益	47,700	25.4%	47,700	25.4%	±0	±0%
販売費及び一般管理費	32,700	17.4%	32,700	17.4%	±0	±0%
営業利益	15,000	8.0%	15,000	8.0%	±0	±0%
経常利益	15,000	8.0%	15,000	8.0%	±0	±0%
親会社株主に帰属する当期利益	10,200	5.4%	9,400	5.0%	(800)	△ 7.8%

受注高・売上高・営業利益・経常利益は期初予想を達成する見込み  
本不正行為に関する特別損失を踏まえ、親会社株主に帰属する当期利益は減少の見込み

(注) 本数字は訂正見込額を反映したものです。

# 中期経営指標

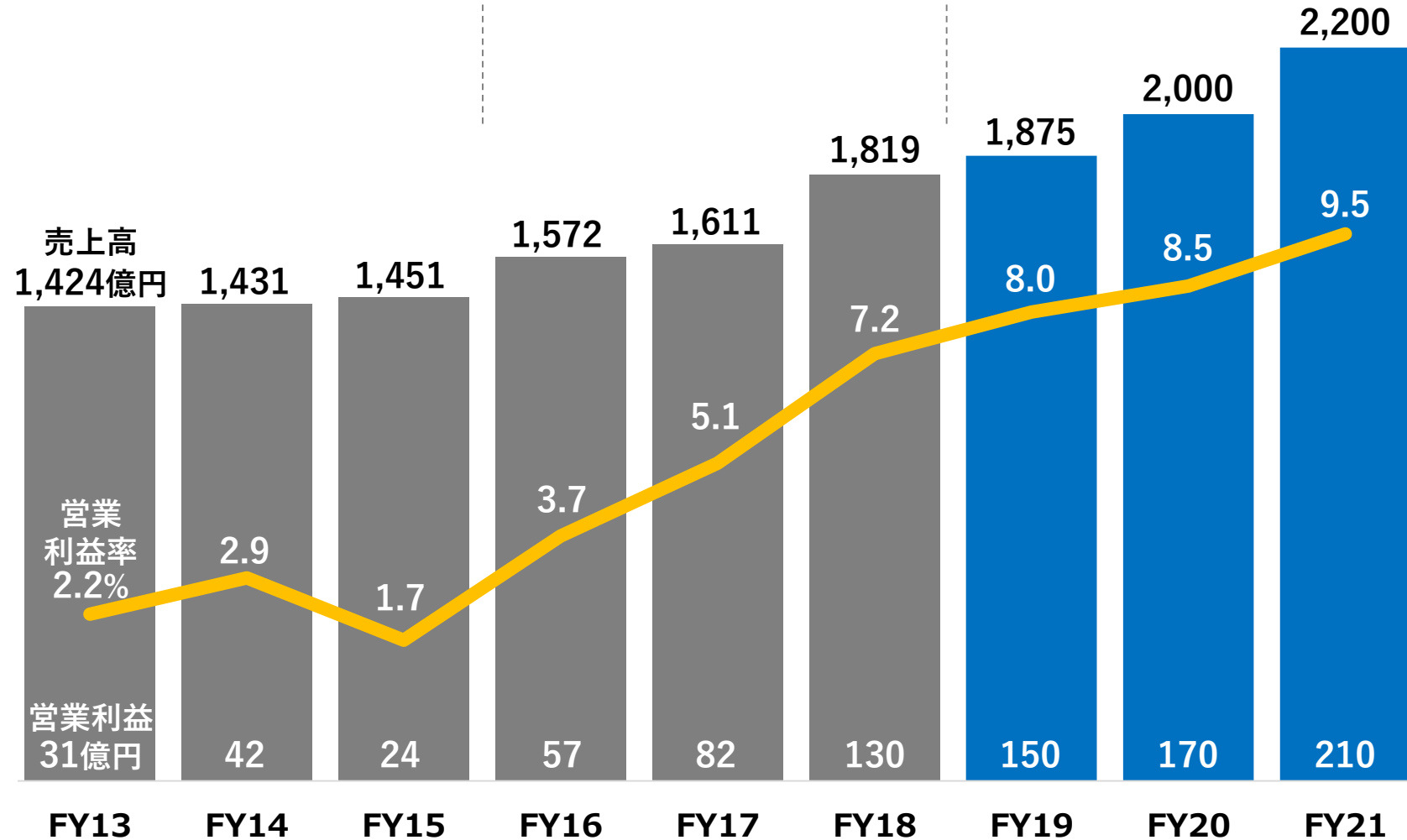
公表値から変更なし

	FY18 実績	FY21 目標
営業 利益率	7.2%	9.5%
サービス 比率	41.2%	50%
ROE	14.0%	16.8%

ビジネスモデルの変革

継続した成長  
(クラウド・セキュリティ)

次世代に対応する変革  
(統合サービス事業)



(注) 過年度の数字は公表時のものです。

## 3

## ■ Appendix

- ・ マーケット別 受注高・売上高・受注残高の修正予想
- ・ 商品群別 受注高・売上高・受注残高の修正予想
- ・ セグメント情報の修正予想

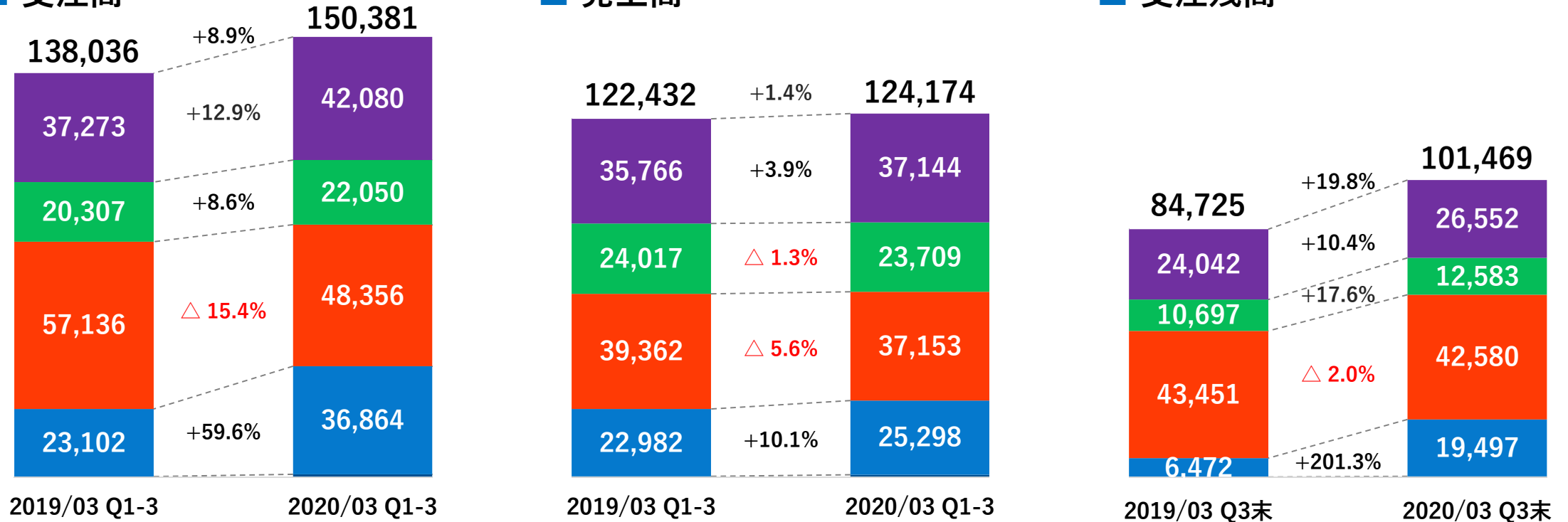
# マーケット別 受注高・売上高・受注残高の修正予想

(単位：百万円)

■ 受注高

■ 売上高

■ 受注残高



エンタープライズ

セキュリティ対策、クラウド基盤、働き方改革、及び、注力市場のスマートファクトリーのビジネスが堅調の見込み

通信事業者

サービス基盤ビジネスを中心に堅調の見込み

パブリック

注力市場のヘルスケアや教育を含め、セキュリティ対策やクラウド基盤ビジネスが堅調の見込み

パートナー

主要パートナー向けのビジネスが堅調の見込み。また、第3四半期に5G案件が発生

(注) 当期の数字は訂正見込額を反映したものです。過年度の数字は公表時のもので、2020年3月期 第3四半期決算発表時に訂正額をパブリック市場に反映する予定です。

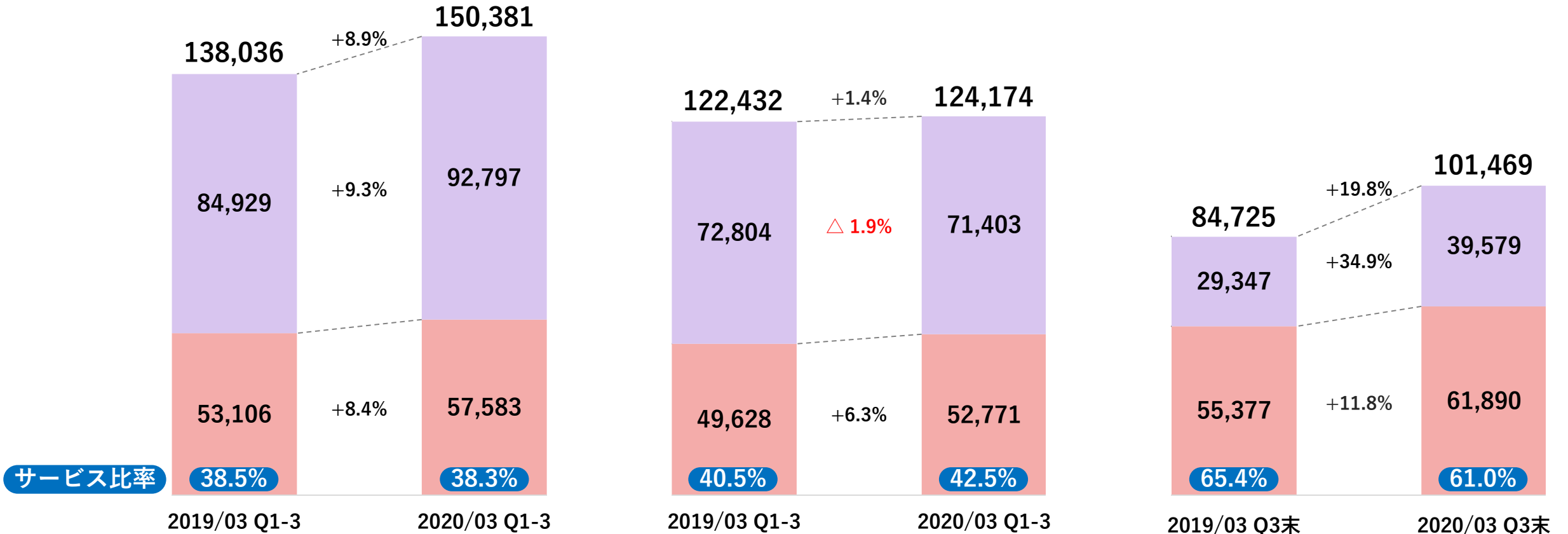
# 商品群別 受注高・売上高・受注残高の修正予想

(単位：百万円)

■ 受注高

■ 売上高

■ 受注残高



機器	<p>「統合サービス事業」が拡大し、サービスの受注高・売上高・受注残高が順調に増加する見込み。 一方で、機器中心の5G案件が発生したことで、受注高・受注残高のサービス比率は低下する見込み。</p>
サービス	

(注) 当期の数字は訂正見込額を反映したものです。過年度の数字は公表時のもので、2020年3月期 第3四半期決算発表時に訂正額を反映する予定です。

# セグメント情報の修正予想

(単位：百万円)		報告セグメント					その他	合計	調整額	連結 損益計算書 計上額
		エンタープライズ	通信事業者	パブリック	パートナー	計				
2020/03 Q1-3 【当期】	売上高	37,150	23,712	37,158	25,300	123,320	879	124,199	(27)	124,174
	セグメント利益	3,763	2,059	2,045	2,483	10,350	0	10,350	(652)	9,699
	利益率	10.1%	8.7%	5.5%	9.8%					7.8%
2019/03 Q1-3 【前期】	売上高	35,766	24,017	39,362	22,982	122,127	304	122,432	-	122,432
	セグメント利益	1,781	2,509	2,084	1,724	8,099	132	8,232	(473)	7,759
	利益率	5.0%	10.4%	5.3%	7.5%					6.3%

- (注) 1. 当期の数字は訂正見込額を反映したものです。過年度の数字は公表時のもので、2020年3月期 第3四半期決算発表時に訂正額をパブリック市場に反映する予定です。  
 2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、前期はサーバサービス事業等を、当期はグローバル事業等を含んでいます。  
 3. セグメント利益の調整額には各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。



つなぐ ∟ むすぶ ∟ かわる



**net one**